

日時：2013 年 7 月 27 日（土）13:00～16:00 会場：名古屋ルーセントタワー16 階
出席者（姓のみ敬称略）：安部、飯田、石井、和泉、石黒、伊豆津、尾崎、木崎、熊谷、黒川、黒田、坂井、角南、澤村、島崎、清水、鈴木、高木、田川、竹迫、谷脇、張、塚田、中世古、名取、名倉、畑、林、半田、服部、花村、三宅、三輪、村上、吉田、若山、渡辺（以上、代議員 37 名）、委任状 9 名、合計 46 名で代議員会として成立。

1. 第 38 回日本骨髄腫学会会長である清水先生による開会の挨拶の後、名倉先生より 以下の項目につき庶務報告がなされ、承認された。

1. 会員動態、会費納入状況 2. 会計報告 3. 診療指針販売状況 4 国際骨髄腫ワークショップ報告(清水先生) 5. 第 39 回ホームページの件
6. 加納賞の授与式が行われた。（秋田大学田川先生に賞状と記念品を授与）

2. 協議事項

- 1) 新入会員 17 名、2) 新代議員候補 4 名が承認された
- 3) 名倉先生より学会役員案が提出された。
在り方委員(畑、中世古、高木) 臨床研究委員(安部、石田、尾崎、小杉)
広報委員(和泉、黒川、黒田、竹迫)
学会誌編集委員は 4 名が提案されたが、谷脇学会誌編委員長より昨年度の編集委員のままが良いとの意見があり第 39 回までは現状のままとすることが承認された(安部、飯田、石田、木崎、黒田、坂井、張、中世古、三輪、村上、吉田)
- 4) 第 39 回学会プロジェクト調査研究について名倉先生から提案がなされ、尾崎先生が中心となって実施されることが承認された。
- 5) 名倉先生より予算案の説明がなされ、今回の学会の開催費用と学会誌の編集代金が加算される予定との説明があり、承認された
- 6) 厚生省へ薬剤の速やかな対応への学会からの要望書を提出したことが清水先生から説明され、承認された。
- 7) その他、以下の要望があり何れも承認された。
 1. 村上先生より TERMS アンケート調査のお願い
 2. 鈴木先生よりレベラミルドのアンケートのお願い
 3. 島崎先生より学会HPにアミロイドーシス研究会のリンクを貼ってほしいとの要望
 4. 骨髄腫学会を検索すると未だに古いHPが検索される為、直ちに削除を依頼することを確認した。

3. 学会による共同研究の討議がなされた

- 1) vincristine, doxorubicin, dexamethasone (VAD) 寛解導入療法に非奏効の症候性多発性骨髄腫患者に対する bortezomib , dexamethasone (BD) 併用療法を用いた自家末梢血幹細胞移植を伴う大量化学療法の有効性と安全性の検討 (JMSG-0901)
- 2) 高齢者再発・難治性多発性骨髄腫に対する weekly bortezomib + dexamethasone 療法 (JMSG-0902) 臨床第 II 相試験 JMSG-0902. phase II Study
- 3) 再発性形質細胞白血病に関する多施設共同後方視的調査研究
- 4) 多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究 (第 39 回日本骨髄腫学会会長プロジェクト)

4. 次期会長挨拶

名倉先生から掛川での次期学術集会への参加が呼びかけられた。

5. 次々期会長挨拶

畑先生から熊本での開催について挨拶があった。

(文責 柴田)